

くあぐい 実験室

笑い我慢拷問



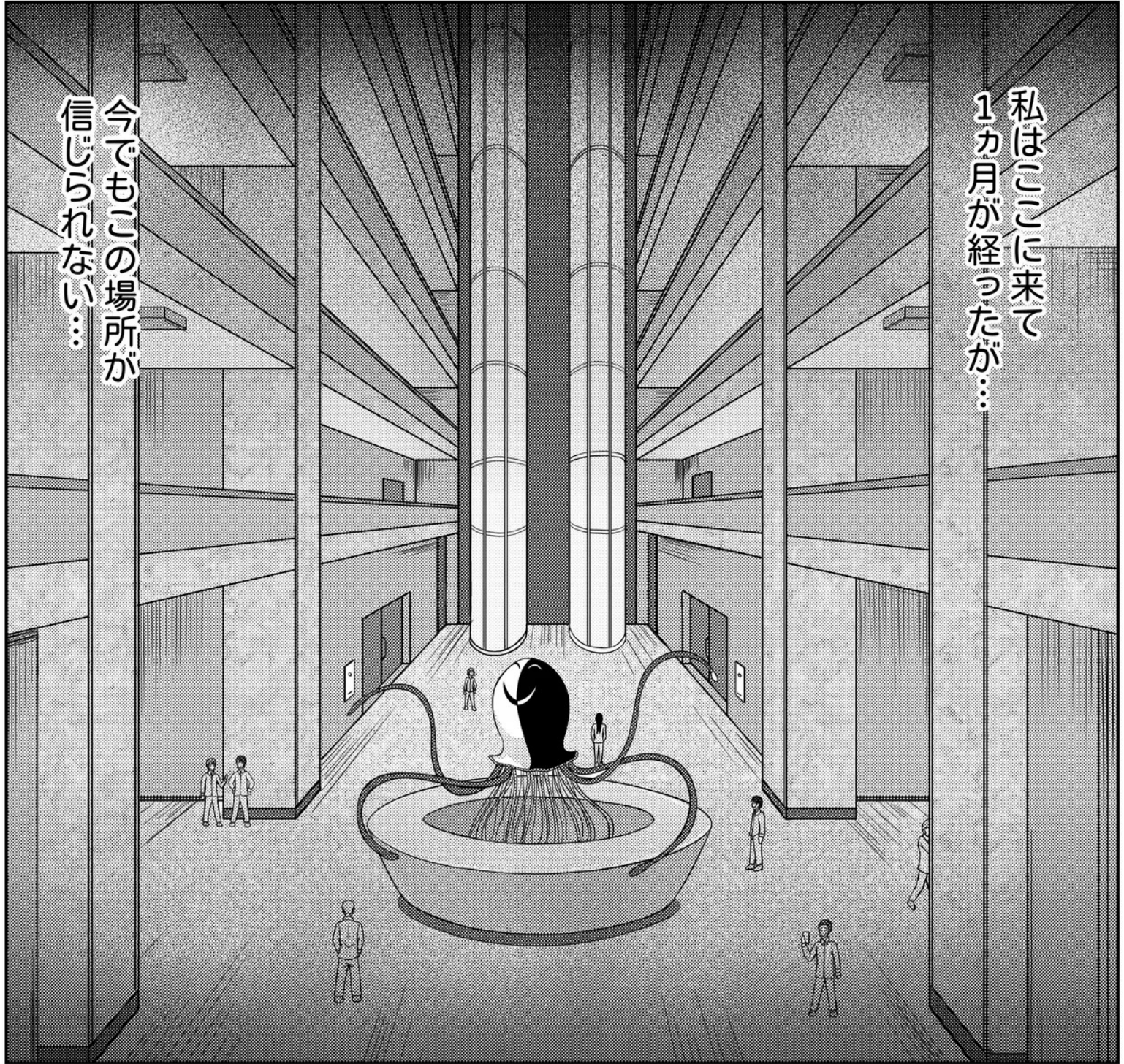
NISUSU

R-18



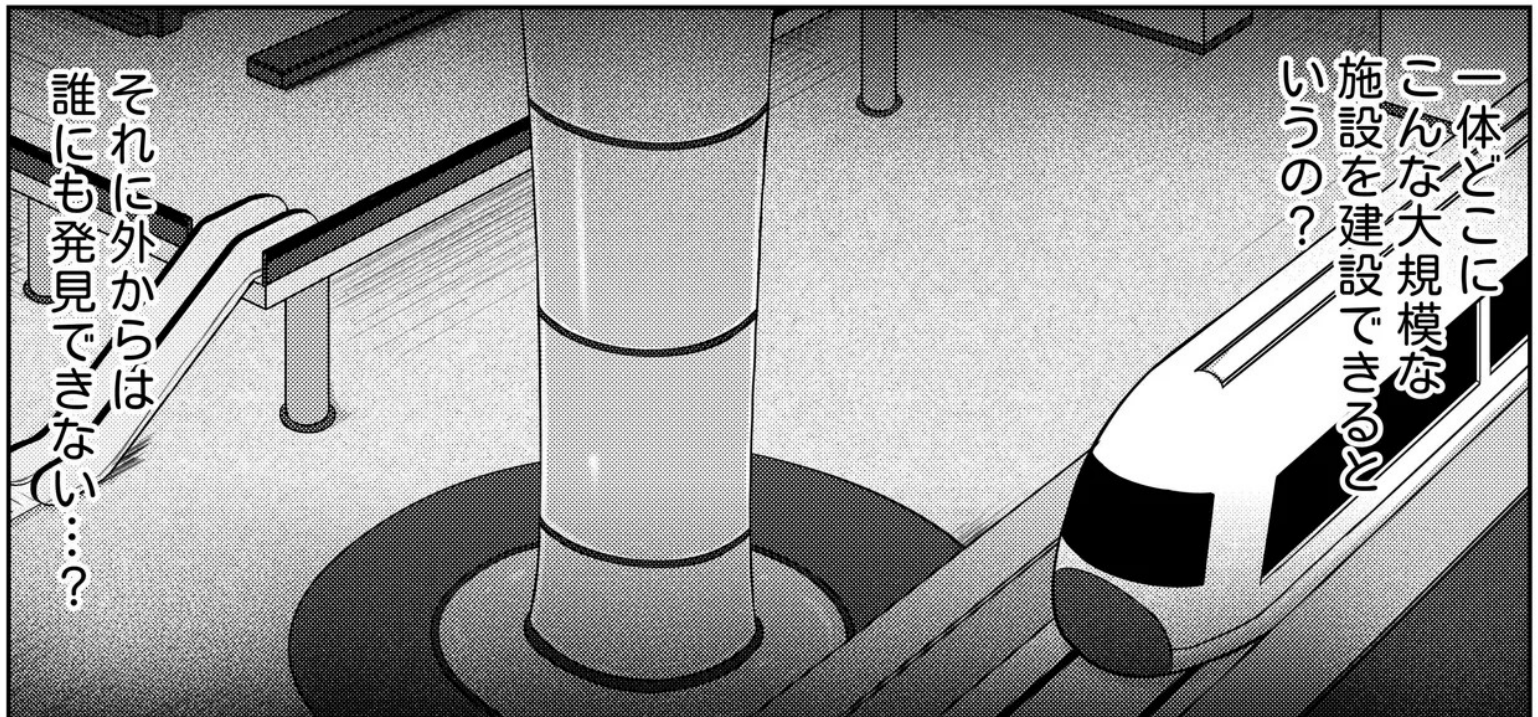
私はここに来て
1カ月が経ったが…

今でもこの場所が
信じられない…

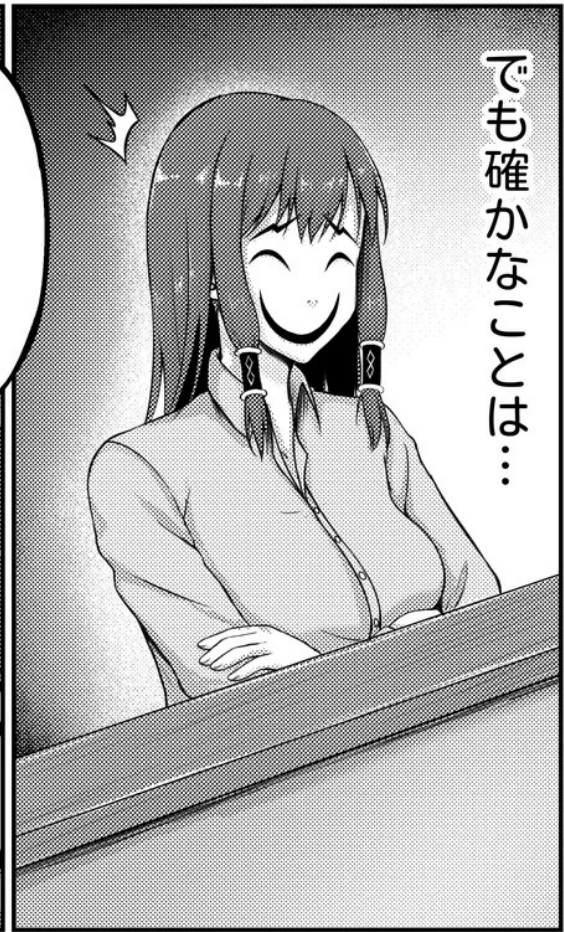


一体どこに
こんな大規模な
施設を建設できるど
いうの？

それに外からは
誰にも発見できない…？



でも確かなことは…



おい！
手伝ってくれ！



まさにここが私たちが
探している場所だ。

1カ月前に調査していた場所…



ここはまさにくすぐり愛好家のために
作った楽園のようだ。

確かに行方不明者
リストに
載っている人だ。



そしていくつかの
実験対象は…



ここでの管理クラスは
非常に単純だ。

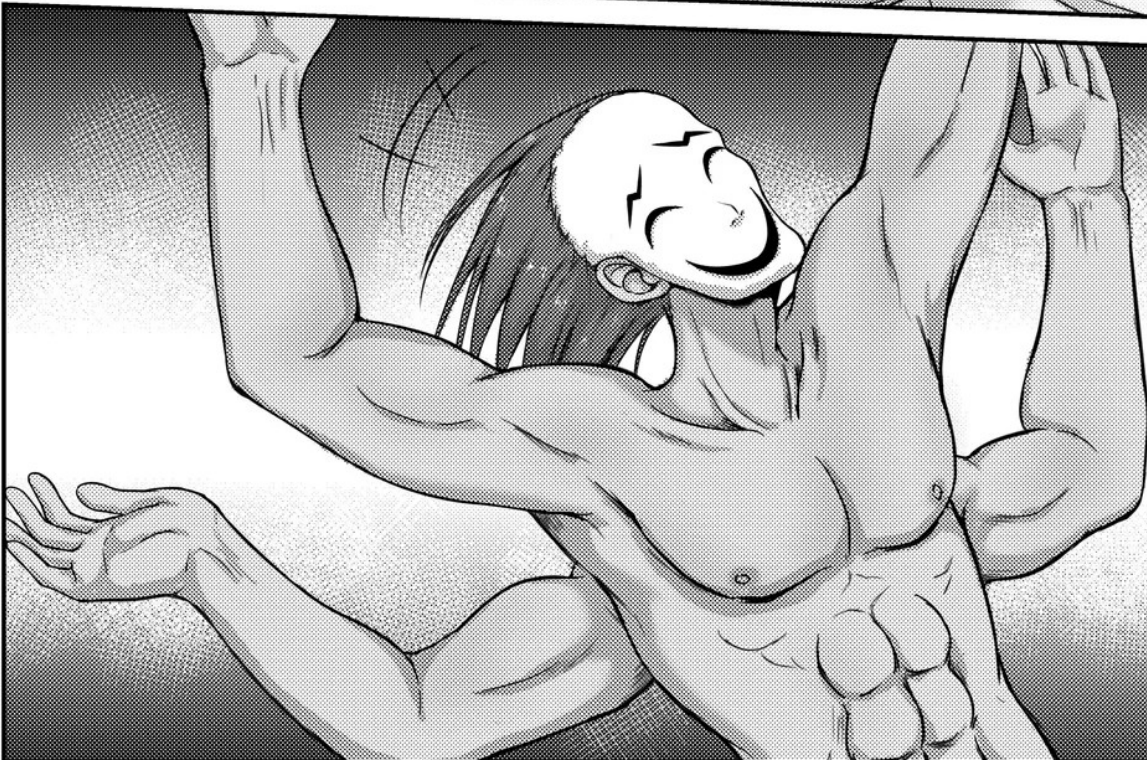
私のように
黄色いマスクを
している人は
一般会員だ。

この施設に滞在して
様々な実験をすることができ
るが
外出は許されていない。

白いマスクを
しているのは幹部だ。

施設に自由に
出入りすることが
できるだけでなく……

ある人達は……
特殊な能力を与えられた。

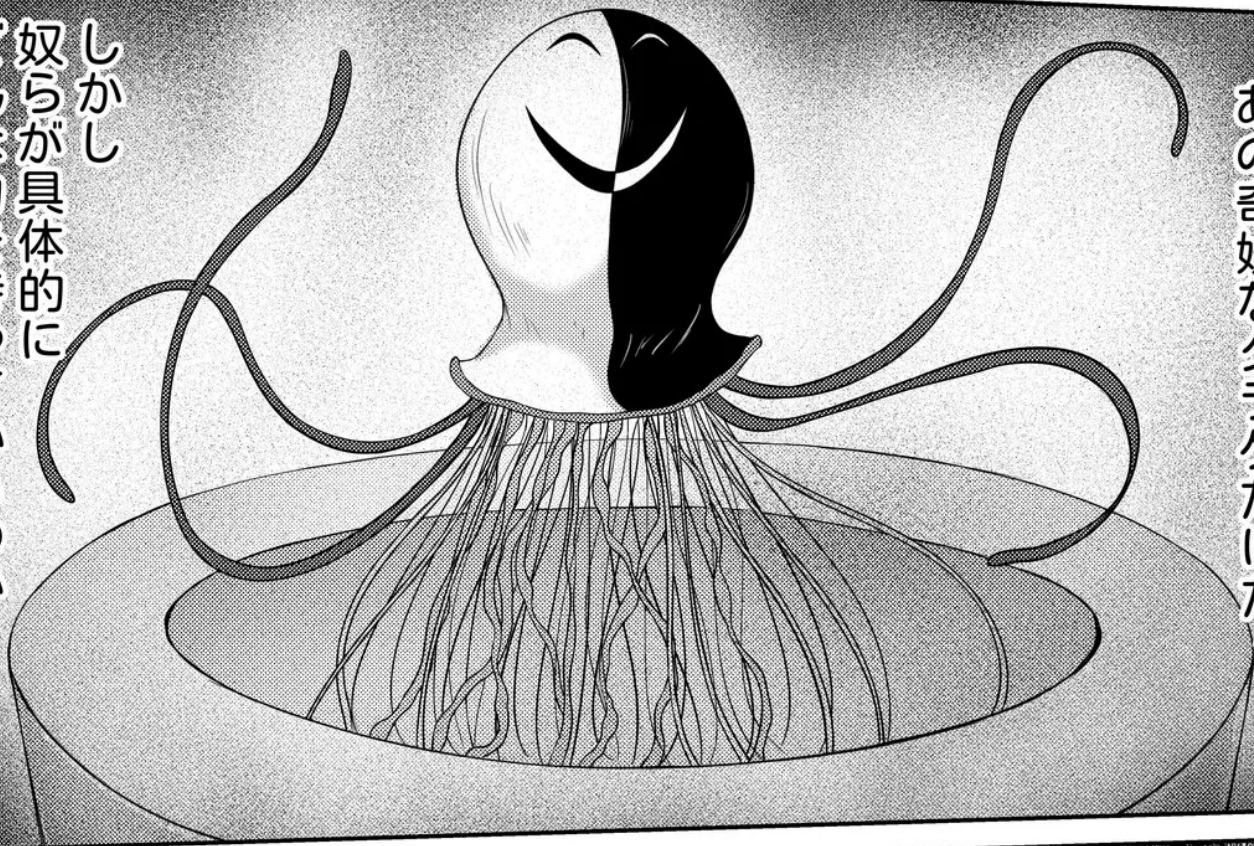


その上には
ビッグスリーと呼ばれる、
マスクは左右で白黒に分かれた
連中が居る：



ここれまで見たことあるのは
あの長身の男：

そして中庭に居る
あの奇妙なクラゲだけだ、



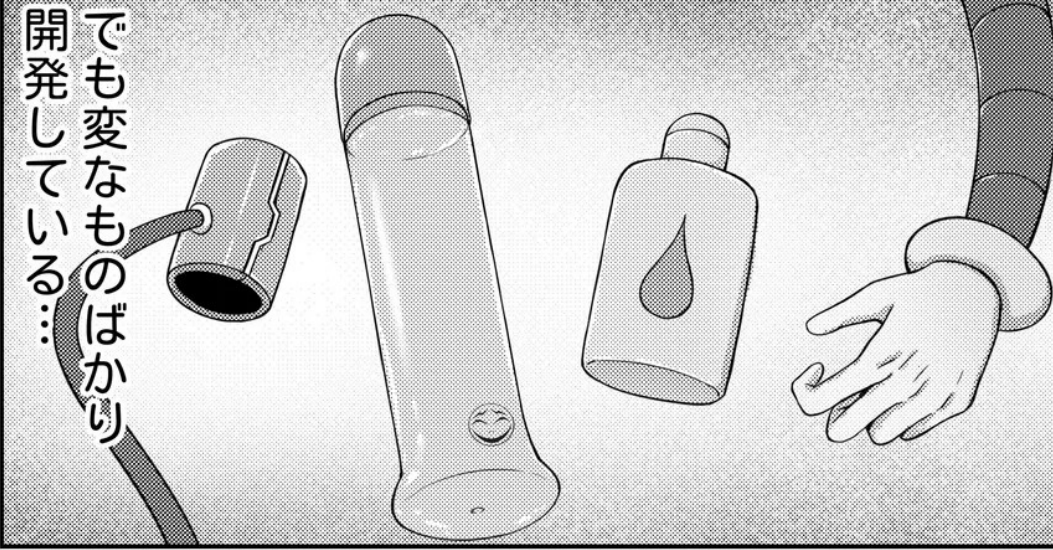
しかし
奴らが具体的に
どんな力を持っているのか
まだ調査できていない。

そして
このすべてを
創造したボス：



見たことはないけど
ヤバイ奴に
違いはない。

ここのテクノロジーは
現代科学より何世紀も
進んでいる。



でも変なものばかり
開発している…

実験と称しているが



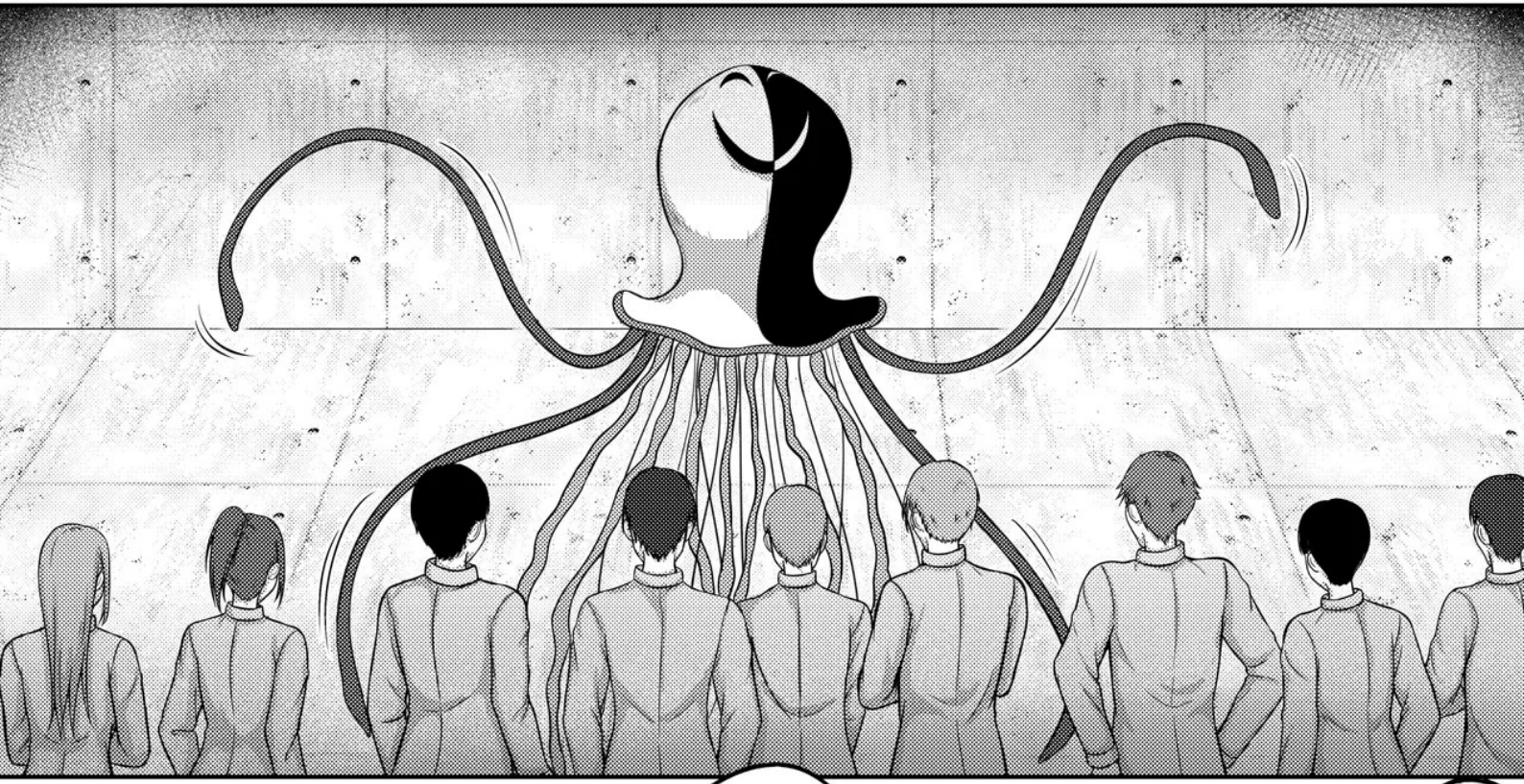
実際はくすぐりで
人を虐めているだけだ。



中央放送！
全職員に告ぐ！

先月から入会した
メンバーは
10分後に広場に
集合せよ。





え!?

君達の中に…
虫がある。



単刀直入に
言うよ…



バレちゃった?

まさか…

自首する
時間を与える…

今自首すれば
理由は聞かぬ
ただ出て行って
もらうだけだ。

しまった…
まだ有益な情報は
ほとんど得られていない…

頑張ったのは
わずかな
手がかりだけ…

3

ここまでか…?

2

ちくしょおお…

1



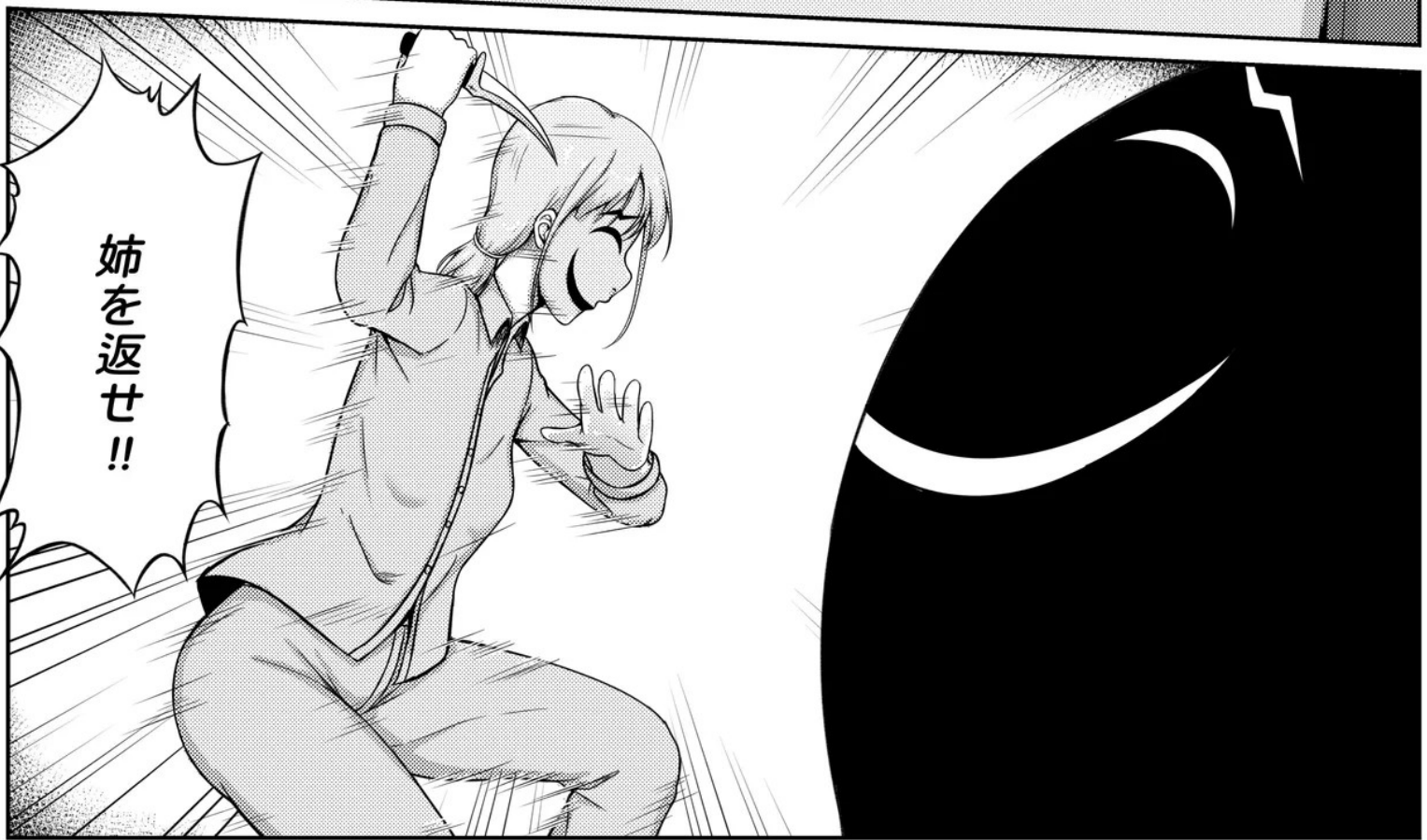
死ね!!



クソ野郎...



え!?

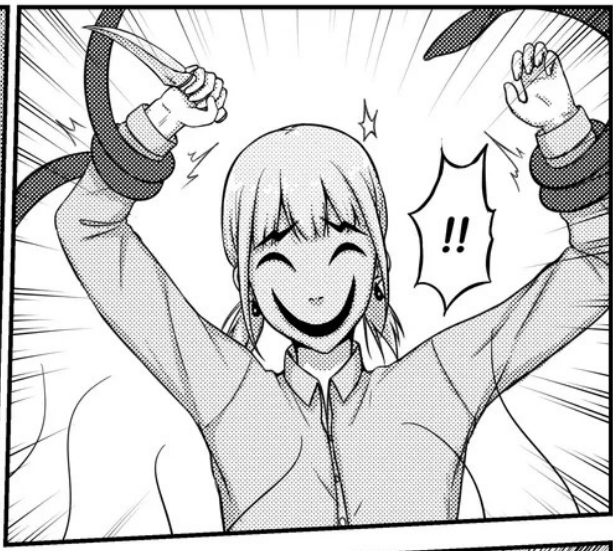


姉を返せ!!

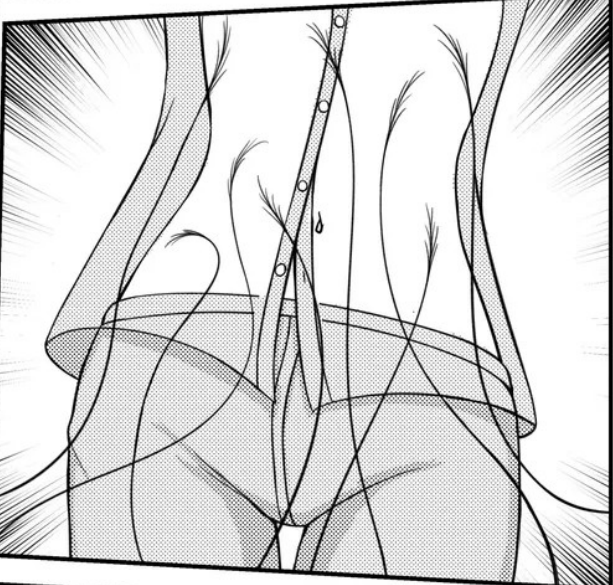


アハハ
アハハハ!!

なにこれ
イヤハハ!



!!



俺の触手の先にはたくさんの繊毛があり
微弱な電流も放出できる、

お前の神経を直接刺激する。



どうだ?

こんな
くすぐったさは
体験したこと
無いだろう?



お前の
メンバーシップを
剥奪する。

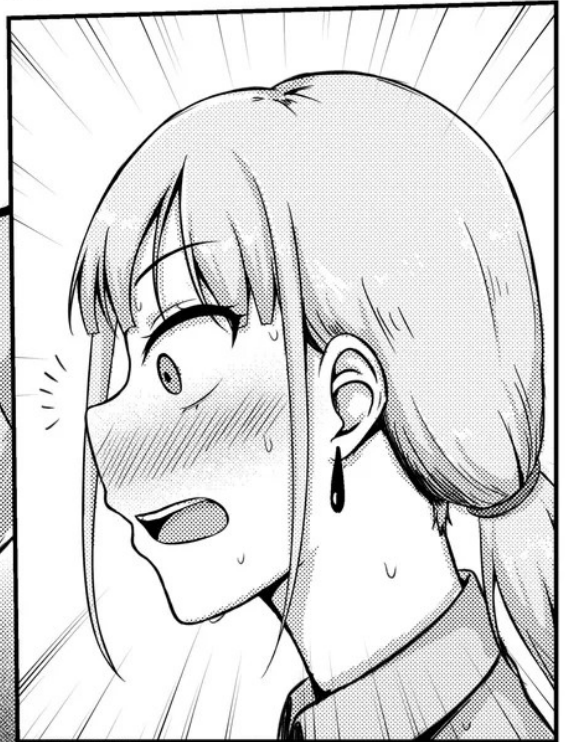
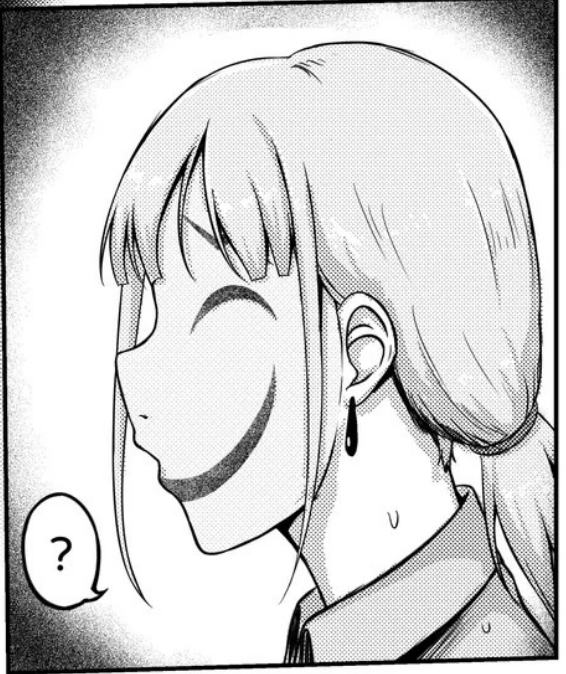


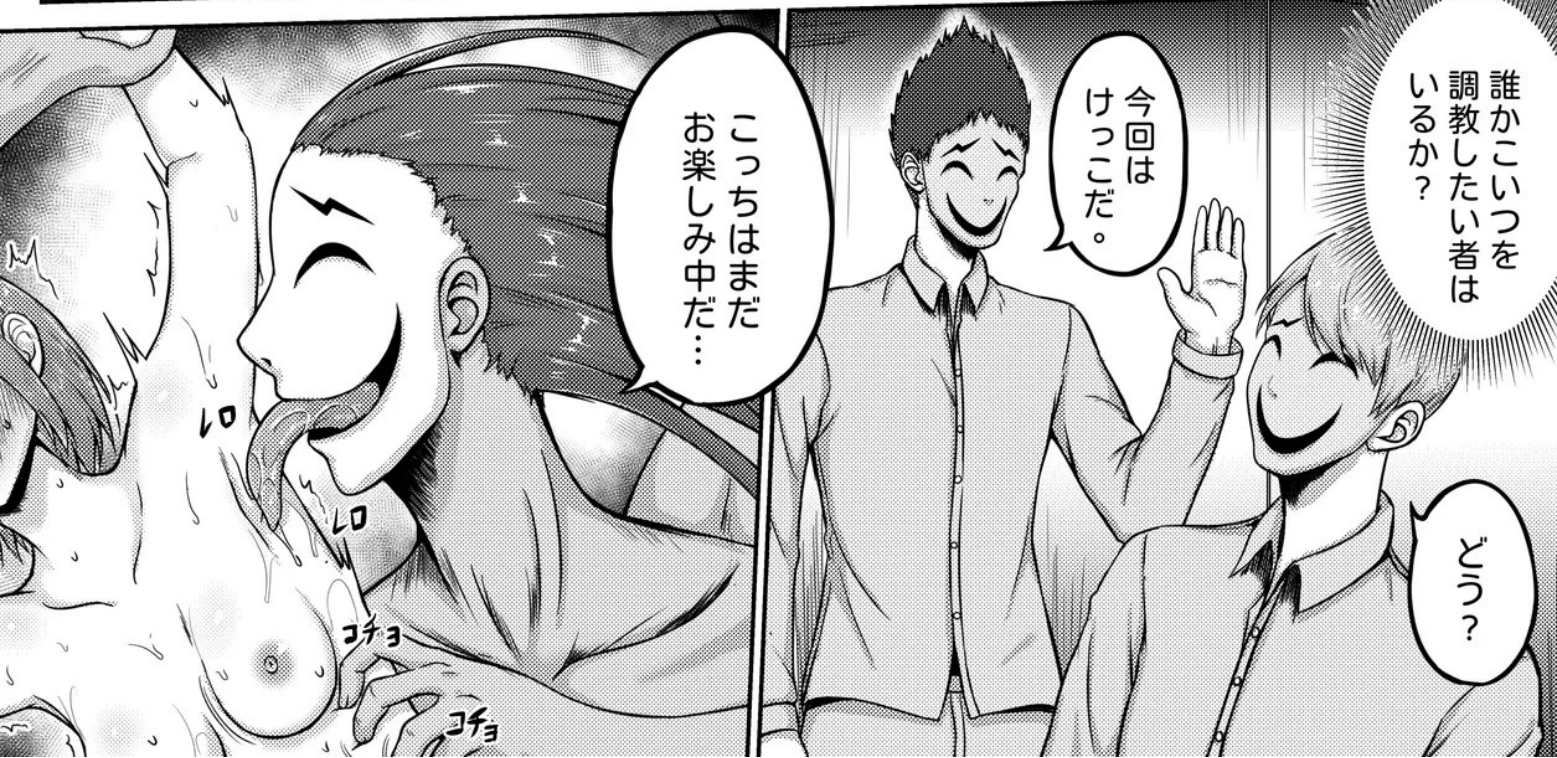
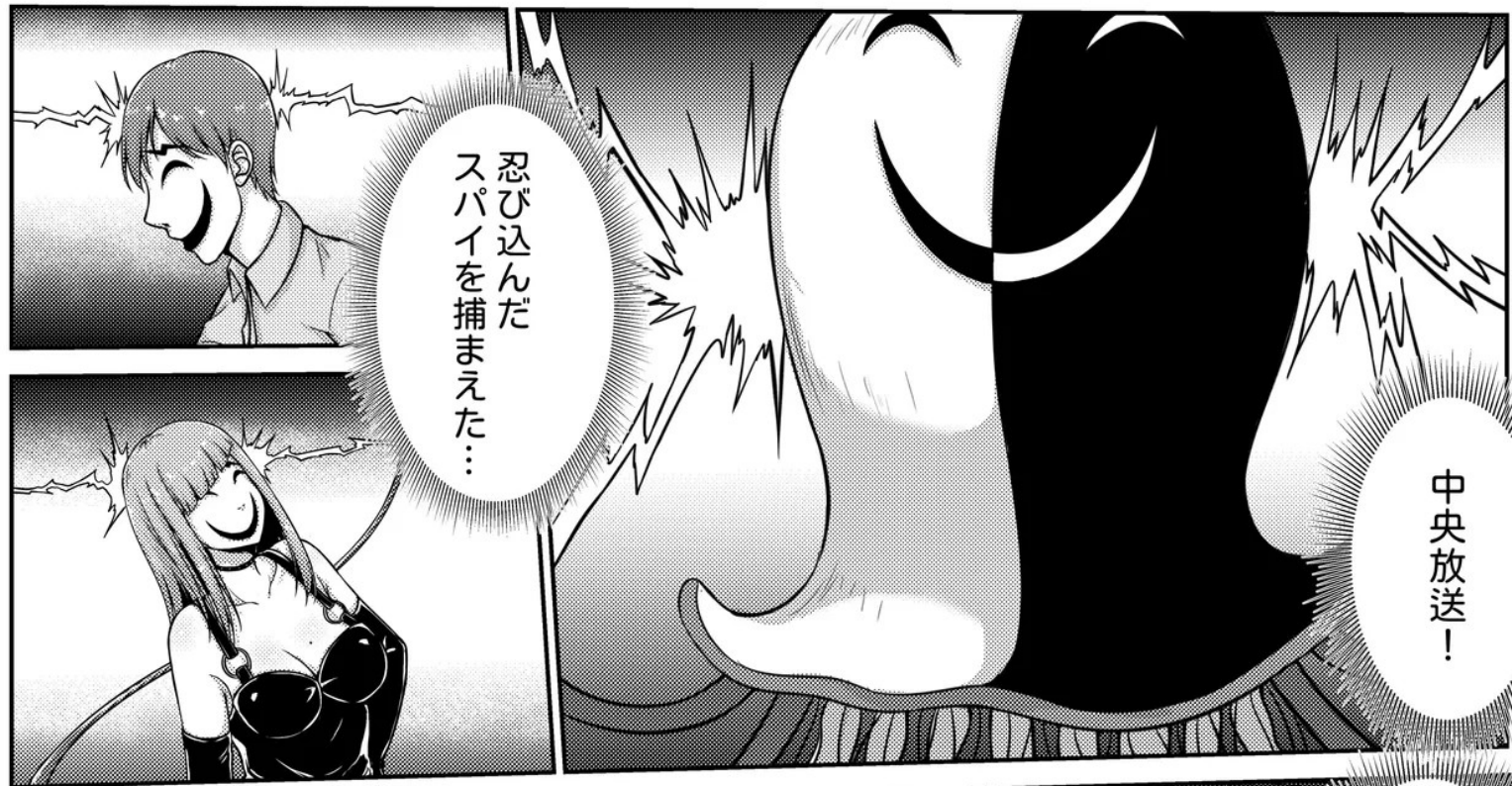
今宣言する...

私以外にも
スパイが居たのね...



裏切り者の顔を
みんなにはっきりと
見せよう。







ほう…
ジエイド
兄弟か？

お任せ
いただけますか？

あれは
ジエイド兄弟
じゃないか？

彼らはもうすぐ
幹部に昇進すると
聞いている。



あ！
そうだ！

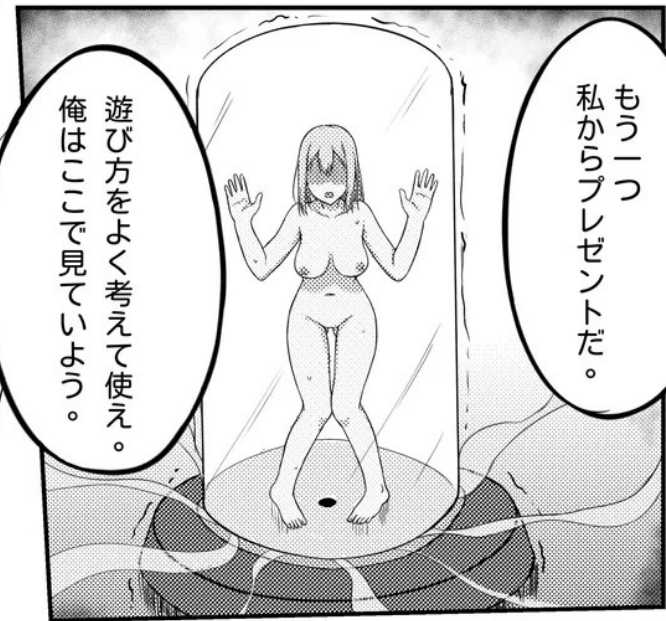
放せよ!!

じゃこいつは
任せるよ。



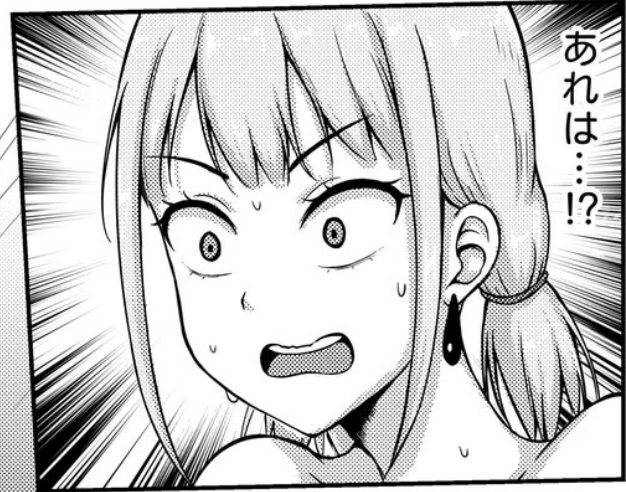
アカネ?

姉ちゃん!?

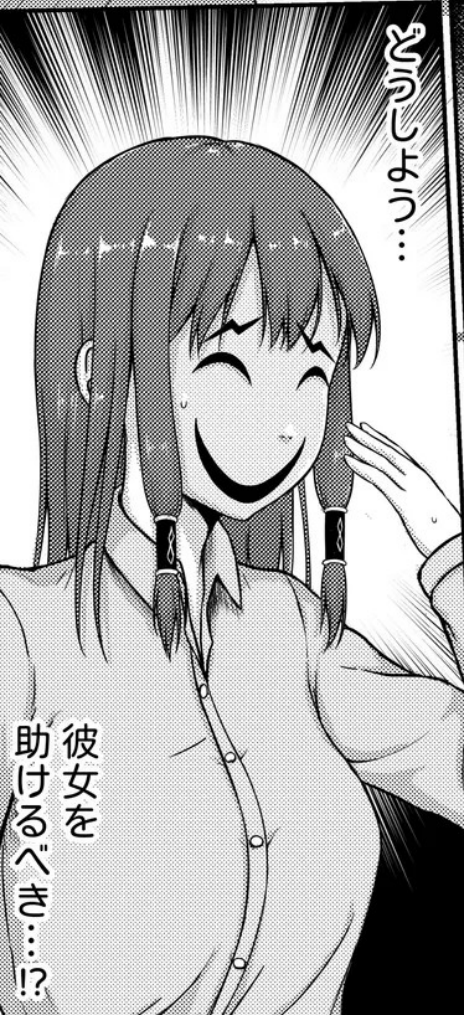


遊び方をよく考えて使え。
俺はここで見ていよう。

もう一つ
私からプレゼントだ。



あれは...!?



アキアキ...

彼女を
助けるべき...!?



感動するね...
ますます
興奮してきた

妹を救いに
来たようだな。



今は様子を見よう…

必ずお前ら殺してやる!!



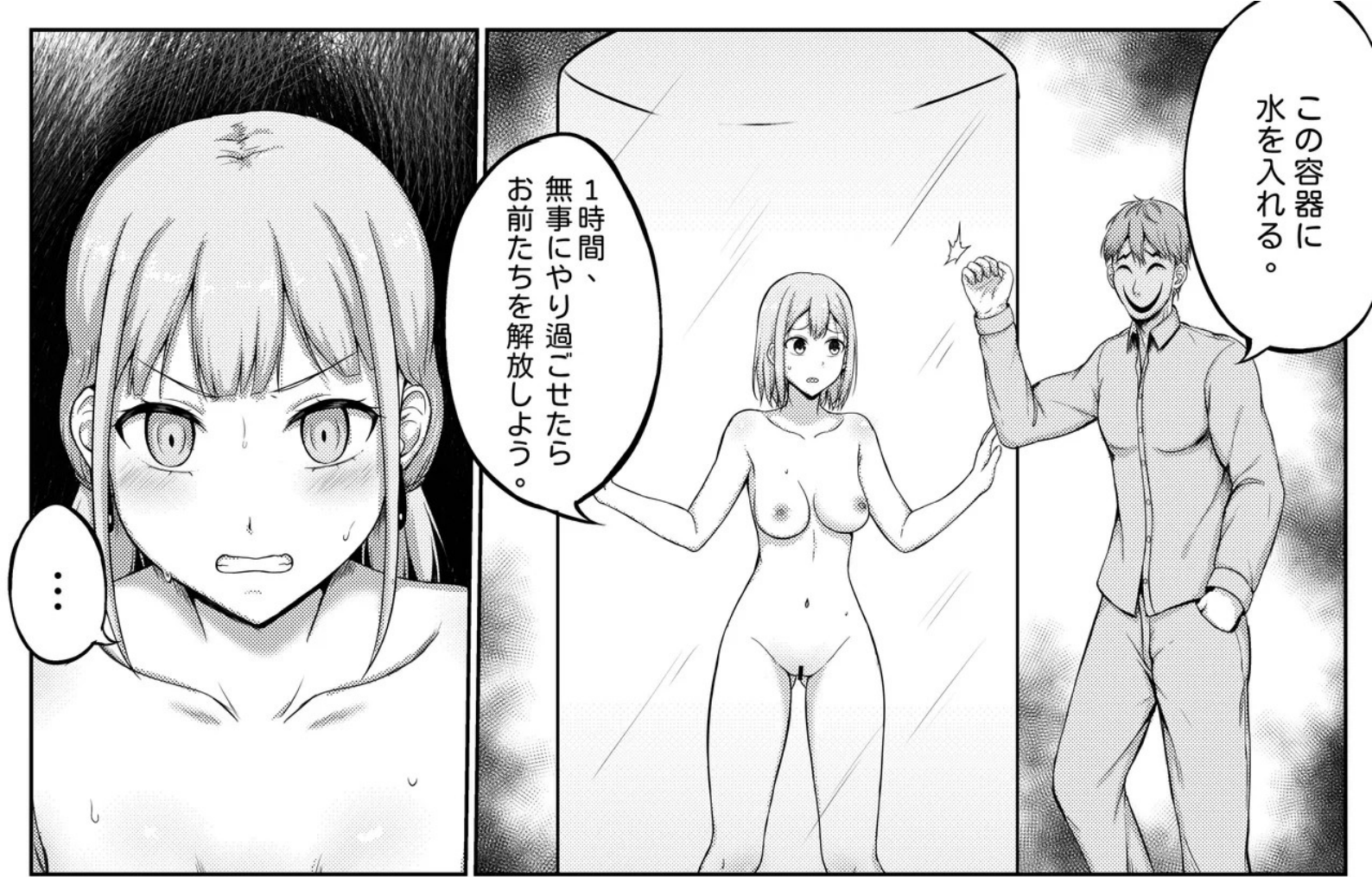
動くこともできない奴は…

くそ…

ただ黙ってる!

ウイイ…

これからお前が声を出したら…



この容器に
水を入れる。

1時間、
無事にやり過ごせたら
お前たちを解放しよう。

...



お前はせいせい
我慢して...

姉ちゃんの息が
長く続くことを
祈るこったな



じゃ、
まずは前菜だ。

ぐい!?

くね

くね



顔赤いね

この程度で
もうだめか？

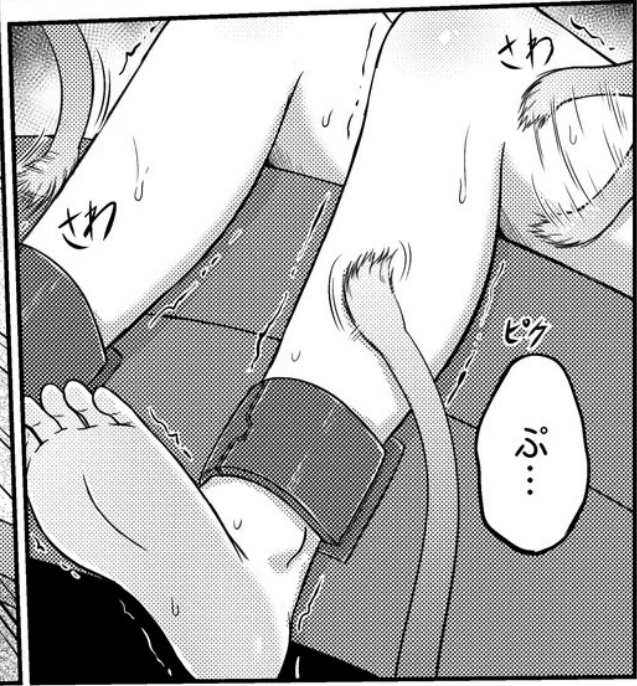
ウギ...



ん...

ぎ...

さわ

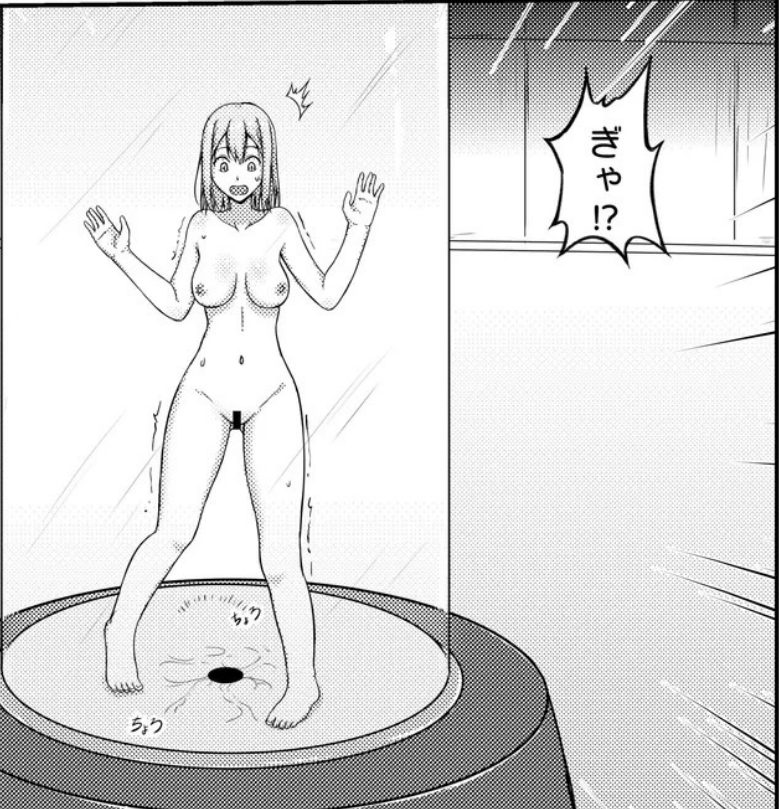


ぶ...



少しの声でも
機械によって
検出されるからな！

おや
水が注がれ始めた！
気がつけろよ、
お前...



ちろ！



お前はそんなにお姉ちゃんを死なせたいのか?

ただ数本のヘアブラシ
そんなにくすぐりたい
わけないでしょう?

ふ...



脇腹攻撃!

あたしたちは
子供の頃から
こちょこちょが
苦手...

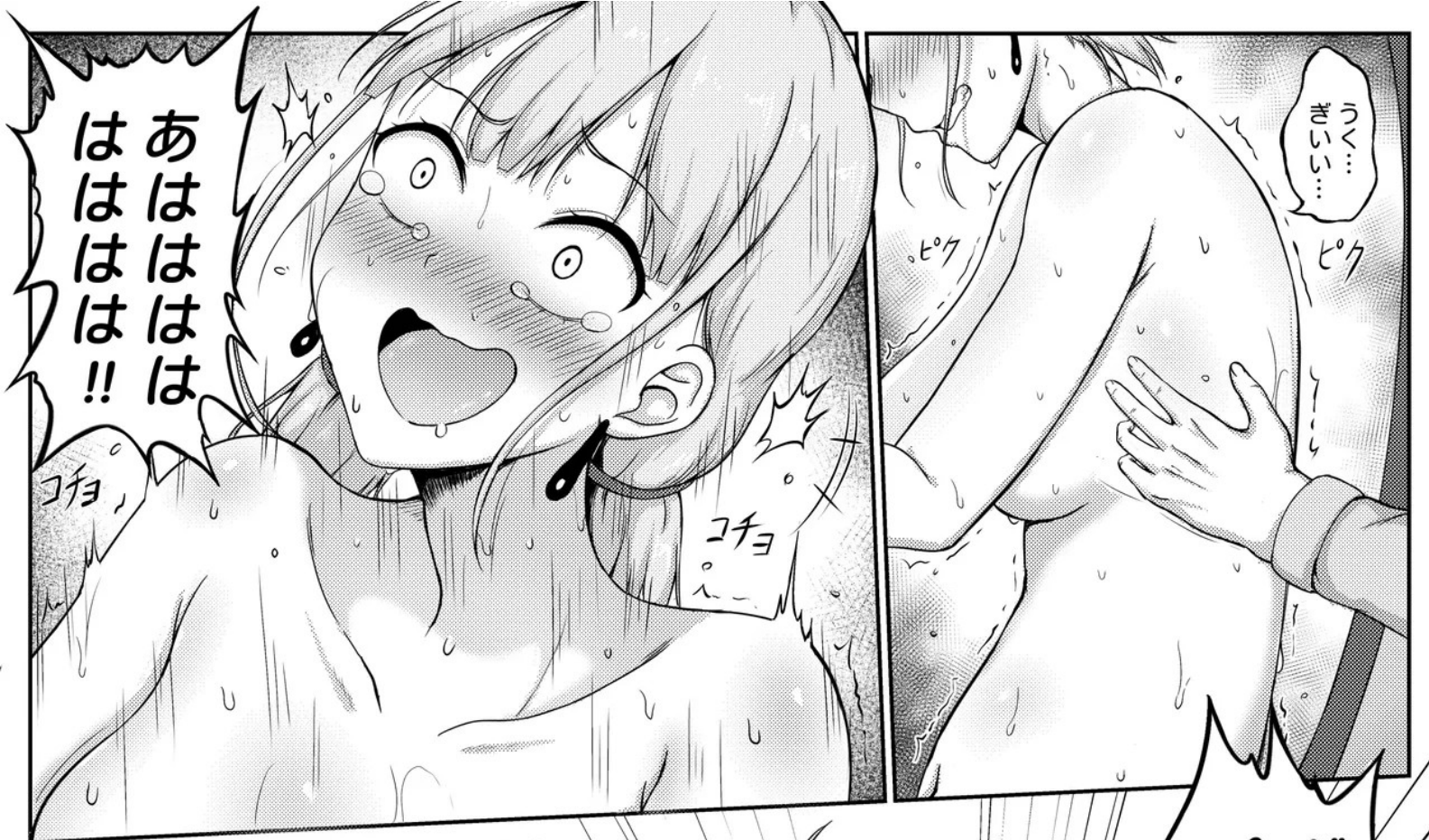
やばい...



簡単そうだな。

どうやらお前を
笑わせるのは...

うくんん



あははははは
ははははは!!

うん...
あ...
びく

びく

びく

ヴオオオオオオ
プハハハハ!!



わああー!

止めてー!

そこやめて
ぎゅん!!

びく

びく

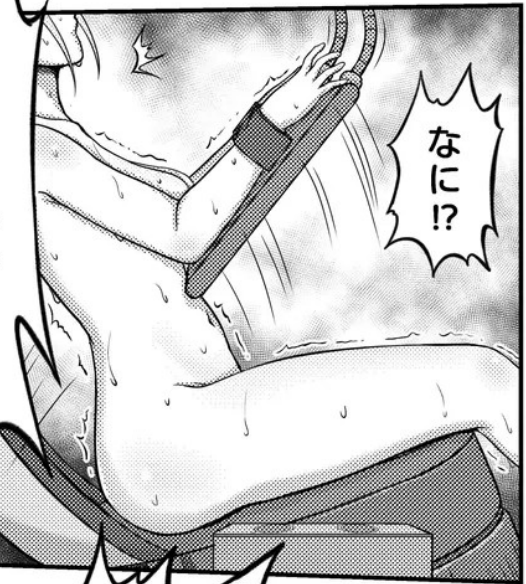


無防備な
脇の下が最高だ

ふわはははははは!!
脇はだめへへへへ!!



はあ...



なに!?

ギャー
ハハハ
ハハハ

ハハハ
ハハハ
ハハハ

おかげで俺はこの
甘くて美味しい足を
独り占めできる。

兄さんは脇が
本当に好きだね!



おかげで俺はこの
甘くて美味しい足を
独り占めできる。

兄さんは脇が
本当に好きだね!



美味しい。
美味しい。

ほくら
たくさん
汗が出てきた♥



じゃ俺も
この腋を
味わってやる！



そのように
舐めるな!!

助けて!!

あははははははは
ははははは!!



舐めるよ〜

くすぶり
ながら…



興奮する
よね〜

足が
びくびくしてる



ふはー！

そろそろ水が
容器を満たして
しまうよ〜

うっかり
笑いすぎて…



アカネ
止めて！！



酷いなあw

お姉ちゃんは
お前のせいで
溺れかけてるのに
お前は全く我慢しない。

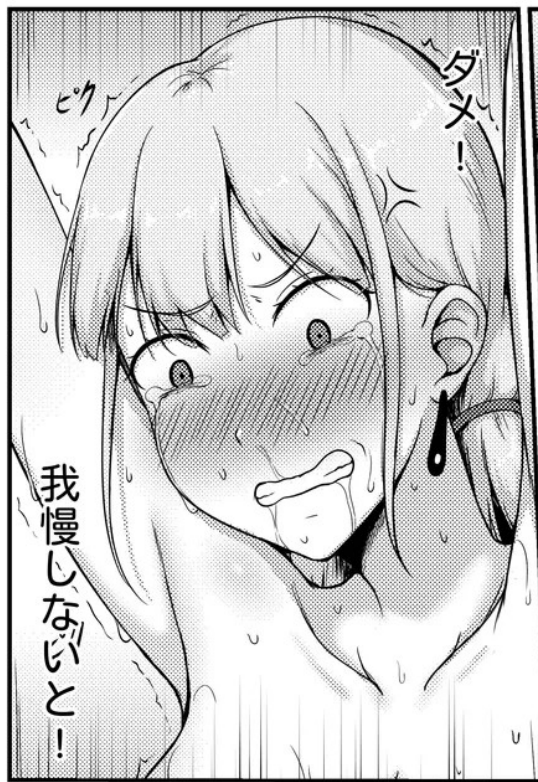
おねがい
やめて



姉ちゃん…

ごめんなさい
私はくすぐり
弱すぎる…

もう何も
考えられない…

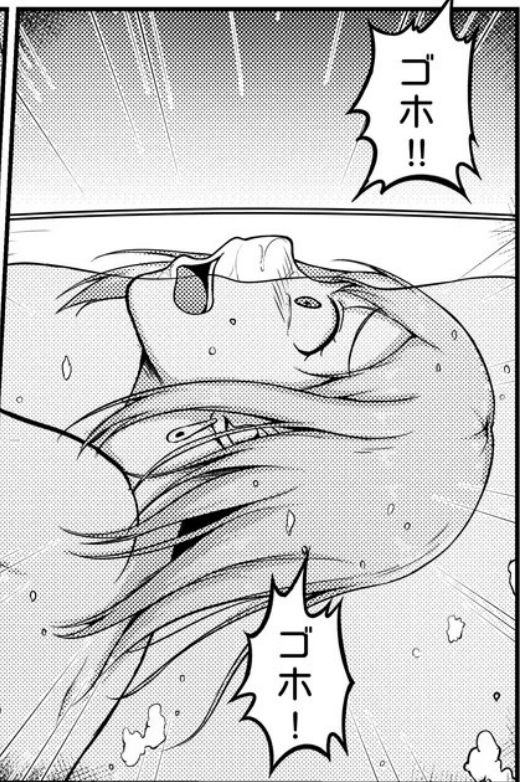


我慢しないと！

ダメ！

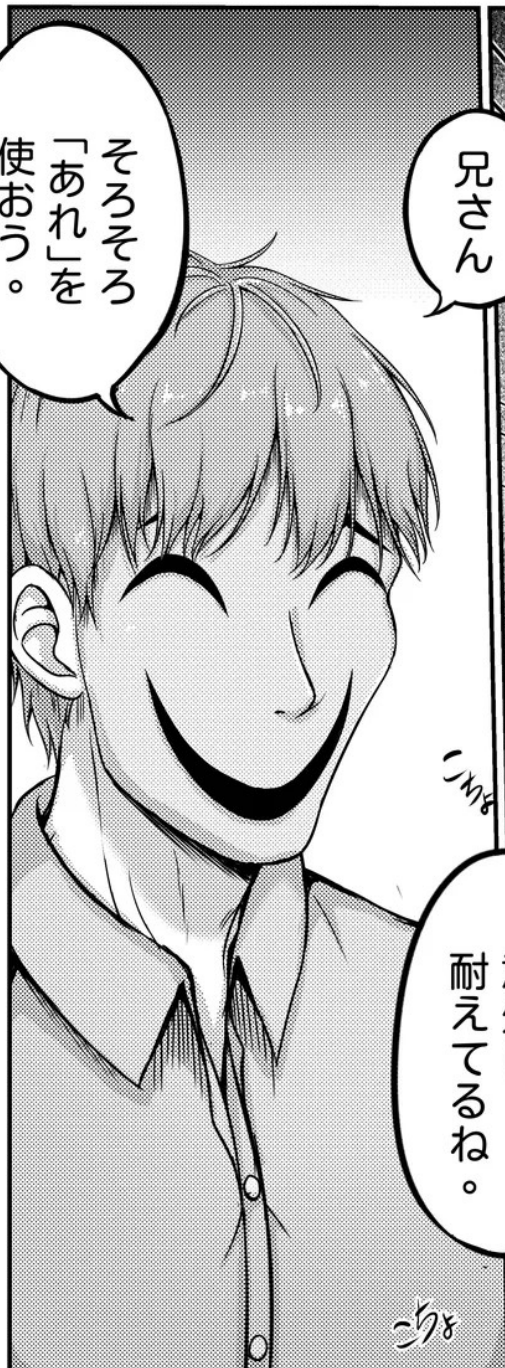


姉ちゃん！！



ゴホ！！

ゴホ！



そろそろ「あれ」を使おう。

兄さん

意外に耐えてるね。



きっと姉ちゃんを救う！

ほ

2/28



お前もしばらくここにいたね…

それは!?
ダメだ…

はあ…

耐えられる人間を見たことがないだろ?



でも俺たちもそんなに意地悪ではない…

これからはお前が音を立てない限り、水位を下げてやる。

つまり笑い出しても大丈夫。
数秒間我慢できれば…

姉ちゃんが呼吸する時間を稼ぐことができるよ。



全てはお前次第だ

待って…!!

これ…

くすぐりたい…



これ…
堪えきれ
ない…!!

ギヤハハハハ!!
アハハハハ!!

プハハハハ!!
アハハハ!!



ほれほれ!
こちよこちよ

足も
付けるぞ



く…

もう無理アハハ
ハハハハハ!!

く…くすぐった
すぎ…ハハハ!



何と酷い
妹だ！



姉ちゃんに
息をさせること
ができるのに。

数秒だけ
我慢すれば…



おじ！



笑い
すぎて…

罰メカニズムが
発動しちゃった。

お前のような
家族を大切に
しない奴…

このジェイド兄弟は
一番嫌いだ。

この
特殊な櫛で
お仕置きだ。

毎本はさまざま
周波数で振動する。

ブラッシング
しながら…

振動する。
こんな不規則な振動が
特にくすぐったい
でしょう？

ウオオオオオ
オホホホホホ
ウアアアア!!

待ってアハハハ
アハとめてハハ!!

くね

グイ…

くね

くすぐったすぎ
アアハハハ!!

腋の下は…

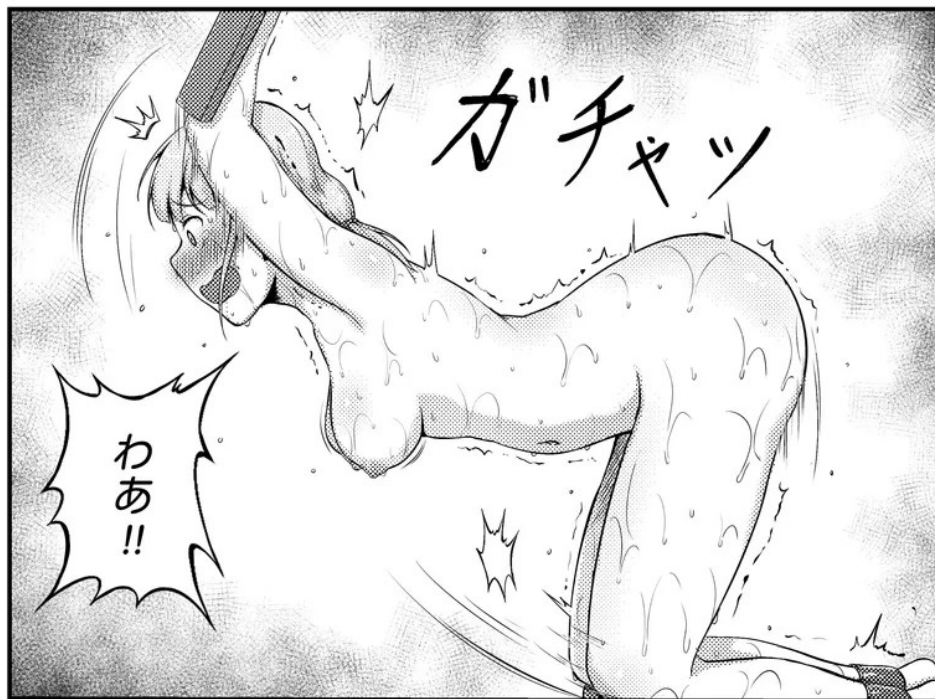
このように
長押しする
だけでいい。

ウオオオ
アアア!!

アハハハハハハハハ
ハツハツハツハツ!!

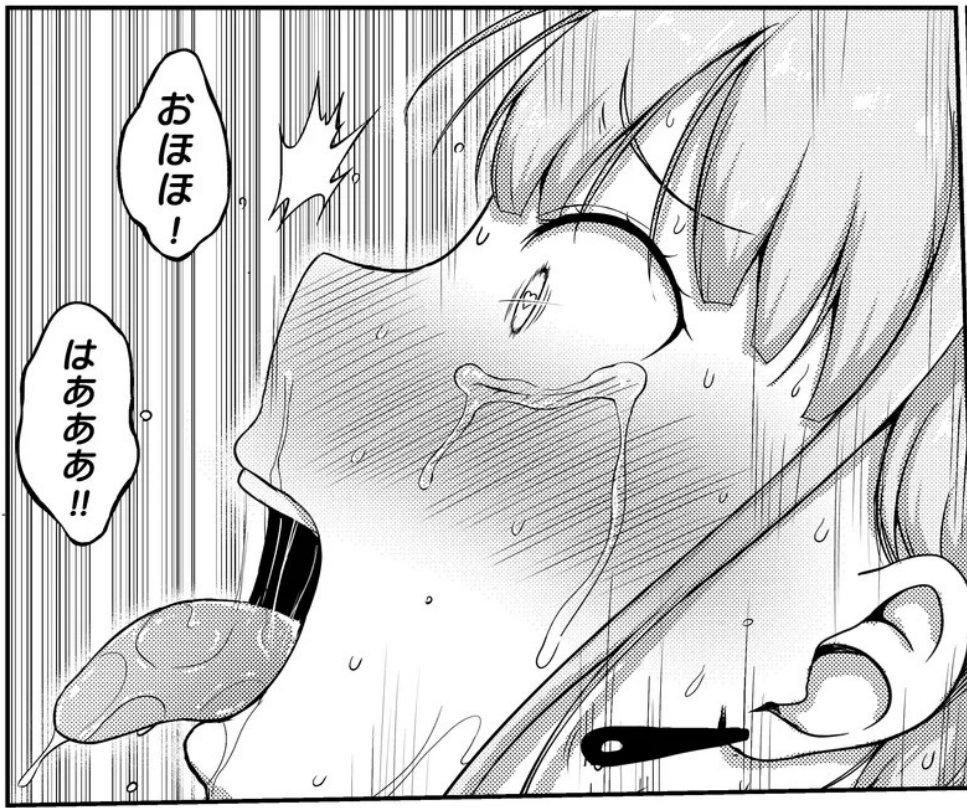
!!

グイグイグイ



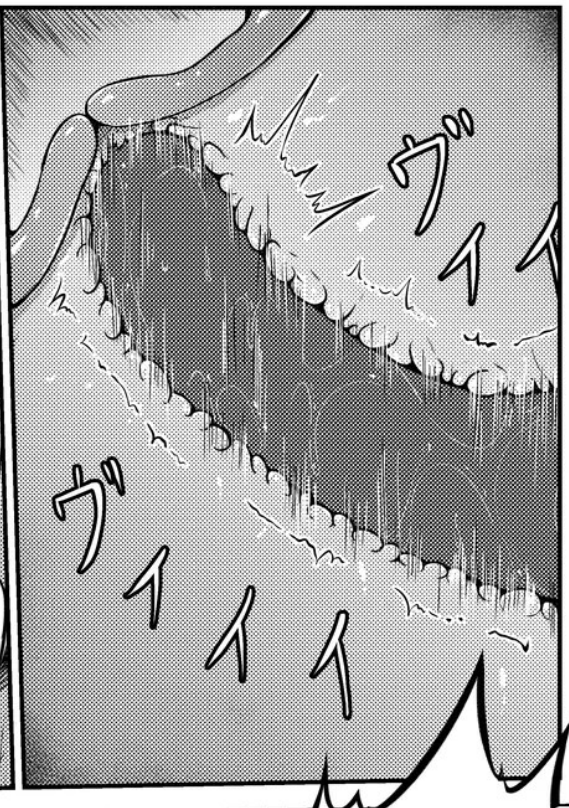
わあ!!



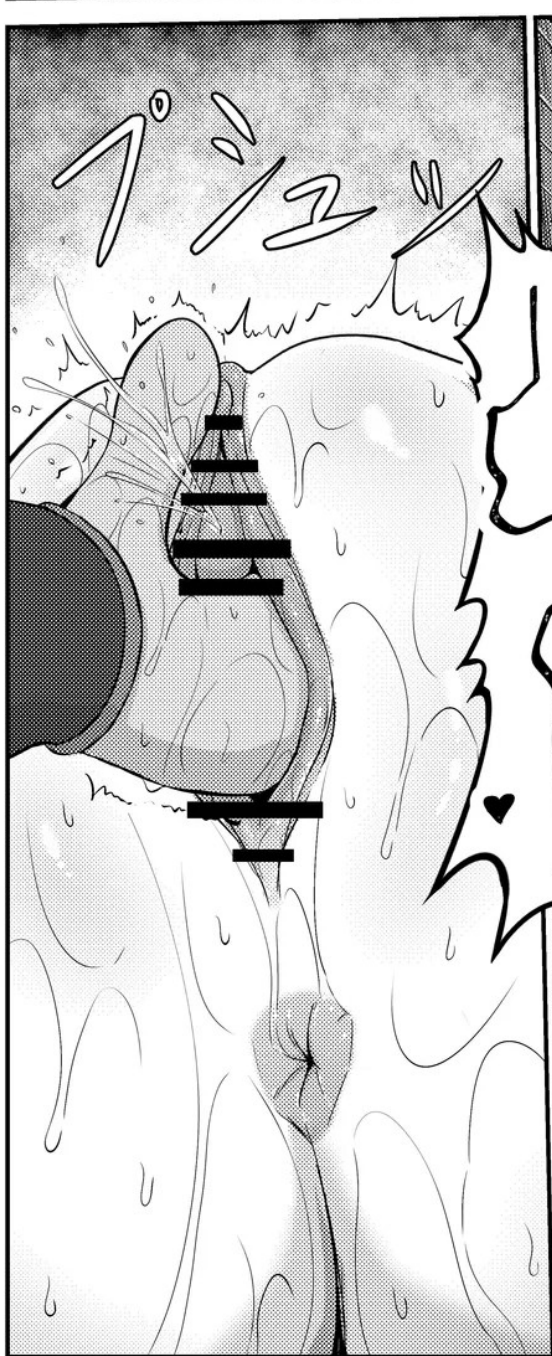


おほほ!

はあああ!!



グ
イ
イ
イ



グ
イ
イ
イ



グ
イ
イ
イ

あ
ん
は



ハ
プ
ハ
ア
ハ
ハ
ハ
ハ

グ
イ
イ
イ



尿を漏らしながら
姉を殺すなんて…



なんと非人間的な
妹なのでしょう



しめんなら…



彼女が目を
覚ましたら
何も言わないで

悔恨を抱えたまま
私たちの奴隷として
居続けさせようw



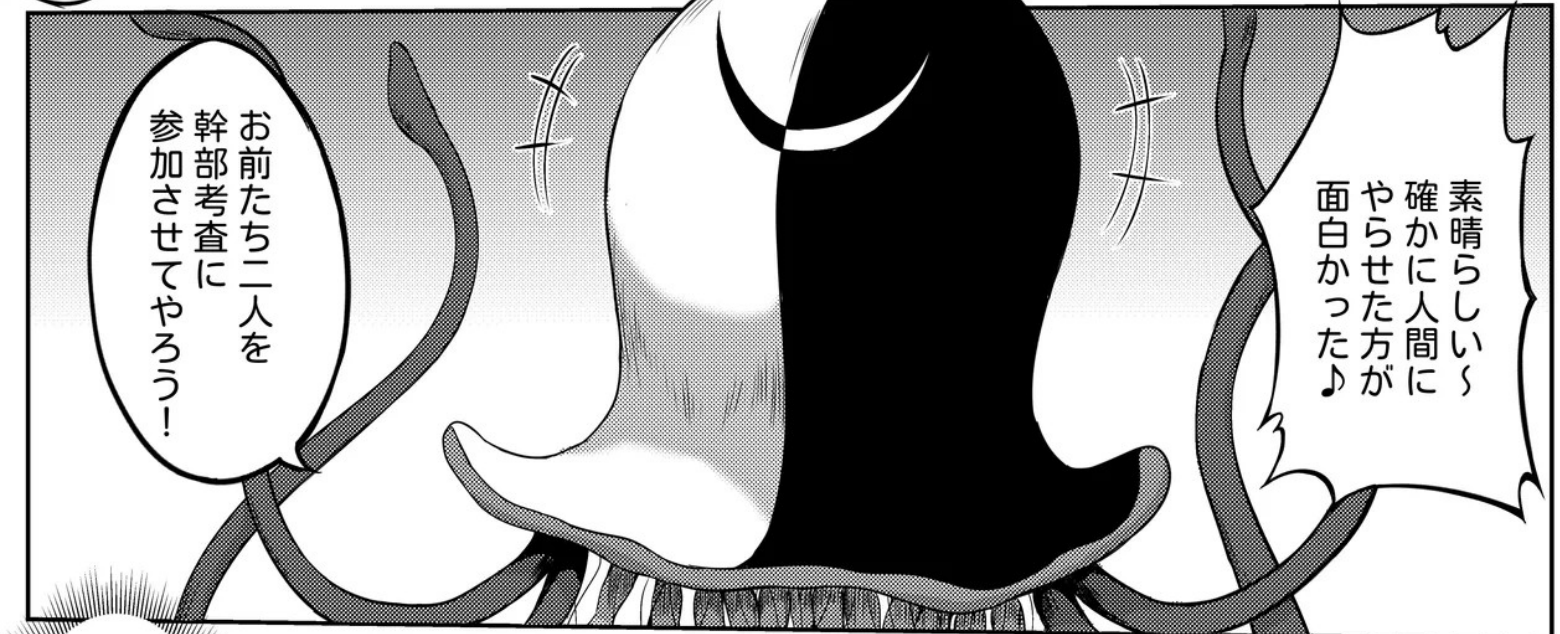
まず彼女の姉
を救急に送って

実験体を無駄にする
わけにはいかない。



気絶
しちゃった…

可哀想に。



素晴らしい
確かに人間に
やらせた方が
面白かった♪

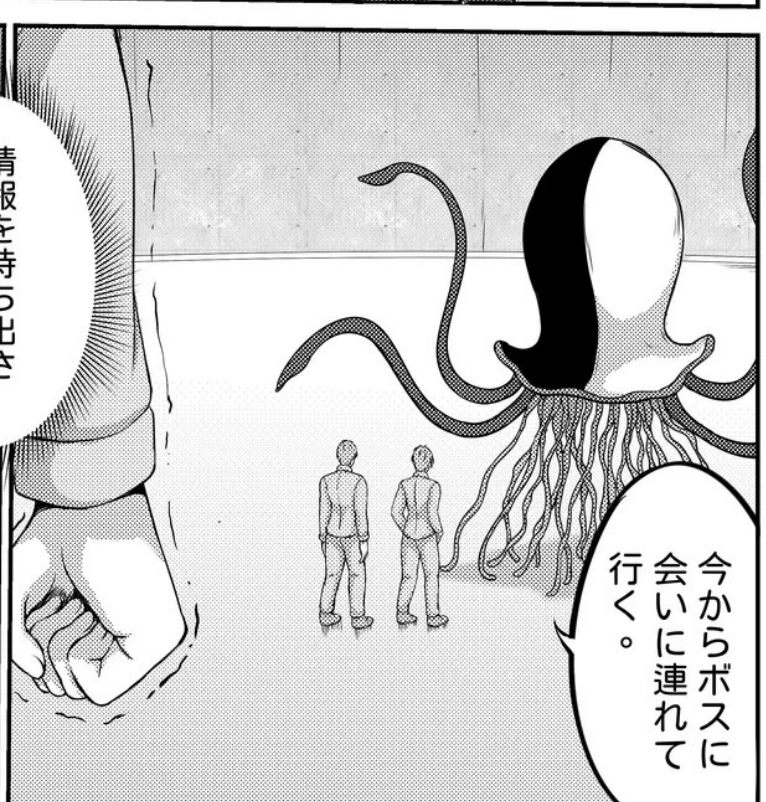
お前たち二人を
幹部考査に
参加させてやろう！



必ず君たちを
救う…

絶対！

情報を持ち出さ
ないといけない…



今からボスに
会いに連れて
行く。